

国際ロータリー第2590地区
2020-21年度
ロータリー財団補助金管理セミナー



グローバル補助金について

ロータリー財団補助金委員会 山寺 雄太

2020/12/10 ソシア21

グローバル補助金とは

一言で申し上げますと、単独のクラブでは金銭的にもノウハウ的にも実現が難しいような、比較的大規模な国際奉仕プロジェクトを行う為のロータリー財団の補助金のことです。

グローバル補助金を活用したプロジェクトとは

- ロータリーの重点分野に関する国際奉仕プロジェクト
- 異なる国にある二つの提唱者が関与する必要
- 実施国側も参加資格認定 (MOU) を受けている
- 実施国側の真のニーズに基づいている
- 実施国側の地域社会の人々が積極的に参加する
- 長期的で持続・測定可能な成果を与える

グローバル補助金・・・重点分野

ロータリーの重点分野とは、

- ◆平和構築と紛争予防
- ◆疾病予防と治療
- ◆水と衛生
- ◆母子の健康
- ◆基本的教育と識字率の向上
- ◆地域社会の経済発展

※「環境の保全」が2021年7月1日より申請対象となる予定です。

地区補助金との違い

- 地区補助金は年度ごとに申請期間が決まっていますが、グローバル補助金は通年で申請が可能。
- プロジェクトの対象がロータリーの重点分野に関する国際奉仕に限られる。
- 予算が最低30,000ドル以上であり、比較的大規模なプロジェクトを対象としている。
- 地区補助金は地区に裁量を任せられているが、グローバル補助金は、ロータリー財団の承認が必要。
(事前に地区での審査も必要。)
- 異なる2つの国の提唱者が必要。

持続可能性①

- 持続可能性とは、補助金を使い切った後でも、効果が持続していくかということです。

資金面では、地元の団体や自治体等から継続的に支援を受けられる場合や、プロジェクトの中から収入を生み出していける場合には、持続可能性があると判断される可能性が高まります。

技術面では、現地の方々だけでその後も継続して運営・改良・メンテナンス等をしていく必要があり、教育が一つのカギになります。

現地の人々の意識を変える教育・啓蒙活動、教育をする側への教育も持続可能性があると判断されるポイントになります。

持続可能性②

食べるものに困っている人々に魚を与えるのではなく、釣竿を与え、餌の探し方と魚の釣り方を教える。

満足な教育を受けられない子供たちに直接教育をするのではなく、教育をする側の大人を教育する。

持続可能性（具体的事例）

- ①学校に教科書や教育資材を提供するならば、同時に教師の教授スキルを高める訓練を実施したり、女子に教育は不要であると考えている父兄・地域社会の住民を集めて女子教育の重要性を訴える啓発セミナーを開催する。
- ②井戸を掘ったり給水設備を寄贈するならば、住民に参加してもらって参加意識を高めたり、清潔な水がどれほど健康に必要かを啓蒙する教育を実施する。

持続可能性（具体的事例②）

- ③病院に医療器材を贈呈するならば、それを扱う医療従事者の知識や治療技術を向上させたり、地域住民に食生活や公衆衛生の啓発をして、病気の予防等の教育を実施する。

- ④体の不自由な方へ車椅子を提供するならば、併せて職業訓練を実施して彼らが収入を得られるようにする等、自立への支援も行う。

検証可能性

- 検証可能性とは、グローバル補助金のプロジェクトの開始前後でどのような成果を得られたかを検証し、具体的なデータと共に報告し得るかどうかという事です。

プロジェクト期間中は最低でも年1回の報告が必要になりますし、プロジェクト終了後も当然に報告義務があります。

グローバル補助金を利用する場合には、目に見える形での成果が得られ、それをきちんとした形で報告できるかどうかをご検討ください。

グローバル補助金の注意点

- 物をあげて終わりのプロジェクト、ロータリーの資金を使い果たした後に効果が持続できないプロジェクトは不可です。また、プロジェクト終了後に効果を検証できる必要があります。
- 支援国となる日本側のクラブもプロジェクト終了まで積極的に関与する必要があります。「プロジェクトの申請を通して資金を調達すれば、あとは現地のロータリーに任せる。」という姿勢ではプロジェクトを実現させるのは難しいでしょう。

プロジェクト発案のカギ

- ①現在クラブで行っている国際奉仕プロジェクトの中に、もっと大規模に行うことで、より効果を発揮できるようなプロジェクトはありませんか？
- ②海外を訪問した際に気になる問題はありませんか？
- ③海外クラブのロータリアンと交流・会話をする中で、現地で支援を必要としている問題はありませんか？

検討の流れ

- ①ロータリー活動等をする中で、現地のニーズが見つかる。
- ②ロータリーの重点分野に該当するかを検討する。
- ③プロジェクト終了後も効果を持続させることができるかを検討する。
- ④そのプロジェクトの効果を実施前と後で検証し、目に見える形で報告することはできるかを検討する。
- ⑤地区委員会に相談下さい。

地区の皆様へ

地域奉仕のみならず、

- ・ 世界で人道的な奉仕事業の実践
 - ・ 若きリーダーを育成する人材推薦
- をお願い致します。



Doing Good in The World !

ご清聴ありがとうございました。

地区ロータリー財団補助金委員会 山寺 雄太

